

43人回収

		はい(人)	いいえ(人)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が始動訓練室等スペースとの関係で適切であるか	29	11	・ぼかぼかでは座位保持椅子やバギーなどがあり動きに危険リスクもあるので、利用児が安心して動けるスペースが確保できるようになると良い。
	② 職員の配置数は適切であるか	30	13	・職員の配置基準は適切ではあるが、支援の流れの中で医療的ケアを行なう看護師の動線については配慮や改善が必要である。 ・休暇をとる職員が重なりすぎないように事前に調整を行なっている。その日その日の朝に各クラスグループの職員の配置を共有している。 ・年度初めの年少児クラス及び医療的ケア児のクラスはもう少し支援が入れるようにしていく必要がある。 ・数としては足りていても、休暇の職員がいる時のやりくりが大変になっている。 ・コロナ感染防止対策のために給食の食事介助に手伝いが必要。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	9	・パーテーション、足形、絵カードなど必要に応じて使用している。 ・トイレのつくりが利用児にあっていないところがあったため、後付けで利用児が使いやすいような状況に改修した。 ・動線がとれるように工夫している。 ・文化棟のトイレでは入口付近にオマルを並べているので、他事業の利用者さんに迷惑をかけてしまっている。構造的になんとかした方が良い。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33	10	・りんごグループはきらきら2園舎への通路になっているので人の出入りがあるため、利用児が落ち着ける環境設定が必要となる。 ・ぼかぼかのトイレは床暖房が入っているが冷暖房空調がないため夏場は熱く冬は寒い空間となっている。 ・各部屋の水道は水のみであるため冬場は給湯機能の環境も必要である。 ・毎日、掃除や消毒を徹底している。今年度は特に衛生面で気を付けた。 ・棚の上にはできるだけ物を置かないように心がけている。 ・芝生広場ときらきら2園庭は、水はけが悪いため晴天時でも遊べないことがあり改善が必要である。 ・会議室で利用児が失尿した場合の始末の仕方を検討する必要がある。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	42	1	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	43	0	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価wp及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	41	1	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	34	8	・浜松市において、指導監査、実地指導を受けて業務改善につなげている。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	41	2	・園内研修では専門職のスタッフによる講義を行ない学びの機会を設けている。 ・今年度は、コロナ感染予防のため外部の研修に出かけることができなかったが、ウェブによる研修を受ける機会が増えてきた。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	42	1	・利用児と保護者のニーズや課題を分析・アセスメントを行ない、支援計画を作成している。
	⑪ 子どもの適応状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	3	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	42	1	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	42	0	・ケース記録の上部にその月の目標を記載することで月間の目標を意識し常に支援が行なえるように心がけている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	39	4	・活動プログラムの立案はチームで行うべきであるが、できていないクラスがあると職員間で支障が起きることもあるため、チームで立案するように職員全体での周知共有が必要である。
	⑮ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	39	4	・現在のクラスの利用児の様子や年間療育活動計画を考慮して月ごとに活動を設定している。 ・積極的に新しいものや利用児に見合ったものを工夫して取り入れているクラスがある一方、そうでないクラスもあるため、全体の質の向上につながると良い。 ・季節の遊びを取り入れ変化をつけている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	41	2	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	41	2	・利用児の介助方法や手順、その日の活動の流れ役割分担などを確認している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40	2	・ケース記録や日誌を記載しながらその日の様子を職員間で情報交換を行い共有している。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	40	2	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	39	3	
㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	39	3		

関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	39	3	
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	40	1	
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	40	1	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	41	1	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	41	1	・市内の通常級と支援級に進学する利用児については浜松市独自の「サポートかけはしシート」による引継ぎを実施している。特別支援学校との引継ぎはひまわりまで見学に来ていただき丁寧な引継ぎを行なっている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	36	1	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	31	11	・例年は地域の園との交流保育を実施しているところ今年度はコロナ感染防止対策のため中止となった交流があった。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	22	18	・浜松市の自立支援協議会および浜北区の自立支援協議会に参加している。
	③⑩	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	41	2	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	42	1	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	40	2	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	43	0	
	③⑭	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	41	2	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	37	6	・例年は保護者同士が話し合う機会があったが、今年度はコロナ感染防止対策のため実施できなかった。今後はどのような形であればできるか検討をしていく。 ・感染症予防対策を行なった上で開催した企画もあった。(人数や時間の調整、検温・マスクの徹底等)
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し出があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42	1	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	37	6	・毎日通の利用児に対しては園だよりクラスだよりを発行している。 ・ホームページやブログについての案内があっても良いのではないかな。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	42	1	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	42	1	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	36	6	・「友愛のさとまつり」が今年度はコロナ感染防止対策のために中止となったが、来年度以降の実施については課題である。
	非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	42	1
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	42	1	・避難訓練は、様々な状況を想定して実践している。
④③		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	42	1	
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	39	2	・給食時、アレルギー食の利用児については別色のトレーを使用して注意を促すように提供している。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	39	2	・職員会議等でヒヤリハットや事故の発生状況を共有し職員間で検証を行っている。 ・全員で共有した方が良いものでもできていないことがあるので、情報共有の徹底が必要。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	40	1	・虐待防止のマニュアルについて、今年度は法人内で見直しの検討会を行なっている。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	39	2	